

平成21年度実施 地域ICT利活用モデル構築事業 成果報告書

実施団体名 鹿児島県奄美市

事業名称 奄美の健康な暮らしに根ざしたビジネスモデル構築事業

1. 事業実施概要

他のインターネット通販サイト等との差別化を図るため、生産者紹介と商品・サービス紹介が連動した、閲覧者に対する訴求力の高いサイトの改良を図る。また、多様化する消費者ニーズに対応する情報発信のために「ロコミ力」が見直されてきている動向を踏まえ、観光客自らが情報発信者となりうるコンテンツの構築を行い、ICTの持つ特性を十分に発揮する。

さらに、子宝の島といわれる本地域の特性を踏まえ、若年層の子育て世代を対象としたコンテンツ展開を図る。なお、いずれにおいてもICT施策の展開に欠かすことのできない携帯サイトの構築を実施する。

2. 目標の進捗状況

指標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出展等
ポータルサイトの登録料の確保	登録料	—	×	事業実績報告
売上確保と一部充当金の確保	マージン 広告収入	—	×	事業実績報告
システムの検証と改良		—	○	システム設計書

※○目標を達成。

△目標の概ね60%以上達成

×上記以外

3. 達成状況が△又は×の場合はその理由

ポータルサイトの登録料の確保と売上確保と一部充当金の確保については、協議会においてもまずは利用者増を図るべきとの指摘を受けたことから、現段階では無料としている。しかしながら、平成21年12月にサイトのリニューアル公開以降、利用者数等による広告料単価等を算出し、自立的運営に向けた取り組みを推進することとしている。

システムの満足度向上については、上記公開とともに、随時利用者の声を収集することが出来るアンケート機能を搭載し、完成版でのアンケート回収を実施することとした。

<委託業務説明書>

1 平成21年度事業実施において明らかとなった課題

1)ポータルサイトとしての内容充実と地域特性の発揮の両立

観光客をはじめとする来訪者は、訪れる地域を知る手段としてホームページを閲覧するケースが多く見られる。そのような中においては、市町村公式ホームページからの誘導が比較的優位であるため、奄美市が構築する「奄美生活」においては、奄美市公式ホームページからのバナーリンクにより、来訪者へのサイト誘導を図っている。

また、ポータルサイトとしての内容充実を図るため、地図機能を搭載し情報の「見える化」を図るとともに、サイト内リンクの充実によるクリック数の減少に努めたところである。さらに、地域特性の発揮については、トップページをはじめサイトデザインについて、協議会等において「奄美らしさ」の議論を深め、議論の内容をサイトに随時反映させてきたところである。また、現在カスタマイズを進めているが、奄美の伝統的な集落形成を模した閲覧ガイドを設け、利用者利便性の向上に努めるとともに、地域文化の発信を図っているところである。

2)観光客等への情報発信と地域住民への生活支援の両立

現在、カスタマイズを進めている「奄美生活」においては、当市の観光地としての魅力を発揮するコンテンツを作成するとともに、行政情報やイベント情報を発信し、子育て支援を実施するコンテンツなど多岐にわたるサイト構成となっている。

そのため、本市では「生活」をキーワードとし、住民参加を促進するロコミュニティや掲示板機能等を搭載させ、メインターゲットを地域住民におくこととした。そのことで、地域住民が主体となる情報発信サイトとしての位置づけがなされたところである。さらに、ロコミ Map の多層的活用を実施し、全てのコンテンツとのサイト内リンクを充実させることでコンテンツ集約及び利用者利便性の向上に努めた。

また、ICT技術を活用した行政情報や健診情報、医療機関に関する情報を子育て世代に対して発信することは、本市へのUIターンを検討している他地域の子育て世代に対しても有益な情報となりうるとして、協議会委員からも高い評価を得た。このように、観光・子育て等、分野が違う場合においても、地域住民が主役となる場合、他地域に対して魅力ある情報発信機能の創出という、当初計画では想定できなかった付加価値が生まれた。

3)「奄美生活」運営にかかるポジショニングの考察

本市では平成22年度以降の自立的運営を行うため、行政の特性を生かしつつ、積極的な民間ノウハウを活用するため、サイト運営の指針となるポジショニングの策定が課題であった。

そのため、協議会委員等の外部視点も導入し、以下のとおり方針を策定したところである。

本市の強み：奄美市に特化した情報発信源、行政関与による高い信頼性の保持

コンセプト：奄美市に特化した情報を、高い信頼性のもと発信するサイト

ターゲット：「南の島」に漠然とイメージをもった本土在住者、奄美ファン

ポジショニング：住民・観光客等による「奄美のために」なるサイト

2 自律的・継続的運営の見込み

1)サーバ移設によるランニングコスト軽減の取組

当市では、事業終了後の永続的なサイト運営のため、島内企業等を視野に入れた民間企業による管理運営を検討しており、サイト管理運営が円滑に推進されるため、サーバ移設を実施する計画である。サーバ移設によるランニングコスト低減効果の一例として、奄美市サーバセンターにおける新回線増設（イニシャル約 30,000 円）により、月額にして 25,000 円、年額 300,000 円の負担低減の試算がなされており、さらにホスティング等の経費についても、企画提案競技や競争入札の実施により費用軽減が予想される場所である。

2)民間活力活用によるサイトの充実及び広告収入の確保

当市では、上記の通り事業終了後のサイト管理運営主体として、民間企業のノウハウを活用することを検討している。そのため、奄美群島内の I C T 企業で組織される e-あまみに対して、現在推進している事業の説明及びサイト機能等についての説明を行い、事業化に向けて意欲ある企業の選択を進めていく予定である。また、個別に説明を求める企業もあり、民間企業のノウハウを活用したバナー広告等の広告収入確保が期待されている。

3 今後の展開方針

1)サイトのリニューアル公開と利用者研究会の実施及び取材体制等の強化

平成 21 年度事業及び平成 20 年度（繰越）事業で推進しているシステムカスタマイズ及び携帯対応については、平成 21 年 12 月中旬に終了を予定しており、このことを事業で構築するサイトの本完成と位置づけている。

サイトの本完成により、利用者の声をよりよく反映させるアンケートページの稼働をはじめ、住民・事業者への周知・広報を図るため、利用者研究会を実施する予定である。また、サイトの充実を図るため、しまっちゅ Mosaic 等の取材体制を強化し、より多くの希望者を掲載する予定としている。また、しまっちゅ Mosaic 掲載料については、初年度については無料とすることを検討している。

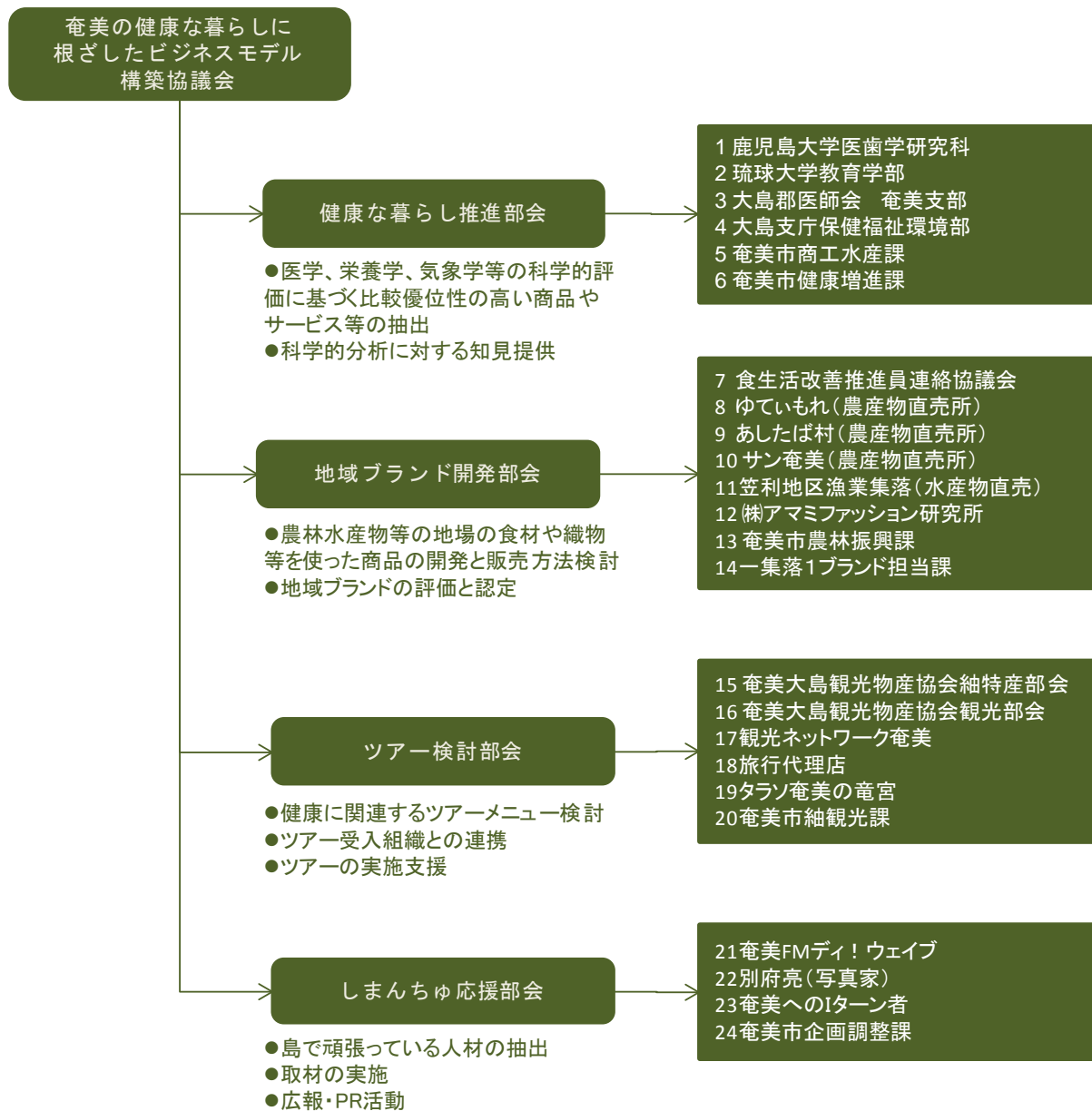
2)サイト管理運営者の決定

平成 21 年度事業終了後の円滑なサイト運営を図るため、平成 22 年 1 月からサイト管理運営者の決定に向けた取り組みを推進する。

その一環として、上記ポジショニング考察等を行い、設置者である本市と管理運営者が共通の指針の元にサイト運営が可能となる素地を整備したところである。また、平成 22 年奄美市議会第 1 回定例会において、管理運営費用を計上し、その成立をみたところである。平成 22 年 4 月には、公募に向けた要綱の公開等を行い、5 月を目途に管理運営者を決定する予定である。

<実施体制説明書>

1 実施体制



2 各主体の役割

NO	氏名・団体名	役 割
1	鹿児島大学医歯学研究科	医学（離島医療、高齢者医療等）に関する知見提供 （平成20年度協議会においては会長に就任）
2	琉球大学教育学部	栄養学（島野菜の効能等）に関する知見提供 （平成20年度協議会においては副会長に就任）
3	大島郡医師会 奄美支部	医学（離島医療、高齢者医療等）に関する知見提供
4	大島支庁保健福祉環境部	奄美群島における保健・福祉政策に関する知見提供
5	奄美市商工水産課	プロジェクト全体の進行管理、新商品開発に関する知見提供
6	奄美市健康増進課	島民の健康管理と保健・福祉政策に関する知見提供
7	食生活改善推進員連絡協議会	奄美の生活様式や食文化に関する知見提供
8	ゆていもれ（農産物直売所）	奄美の地域資源（農産物）に関する知見提供
9	あしたば村（農産物直売所）	奄美の地域資源（農産物）に関する知見提供
10	サン奄美（農産物直売所）	奄美の地域資源（農産物）に関する知見提供
11	笠利地区漁業集落（水産物直売）	奄美の地域資源（水産物）に関する知見提供
12	(株)アマミファッション研究所	奄美の地域資源（染織等）に関する知見提供
13	奄美市農林振興課	農産業振興政策に関する知見提供
14	一集落1ブランド担当課	集落ブランドの構築に関する知見提供
15	奄美大島観光物産協会紬特産部会	特産品開発と流通に関する知見提供
16	奄美大島観光物産協会観光部会	特産品開発と流通に関する知見提供
17	観光ネットワーク奄美	長期滞在ツアーの実施に関する知見提供
18	旅行代理店	長期滞在ツアーの実施に関する知見提供
19	タラソ奄美の竜宮	長期滞在ツアーの実施に関する知見提供
20	奄美市紬観光課	受入組織の調整と観光政策に関する知見提供
21	奄美 FM ディ！ウェイブ	島人の取材と情報発信に関する知見提供
22	別府亮（写真家）	島人の取材と情報発信に関する知見提供
23	奄美へのIターン者	奄美大島の魅力に関する知見提供
24	奄美市企画調整課	各種調査の企画立案に関する知見提供

事業実施進行表

実施内容	H21										H22		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
協議会等設立・準備会合	→												
協議会等開催					▲					▲	▲		
部会開催					△					△	△		
システムの更新・改善	→												
運営体制の検討						→							
運営主体の公募													
運営主体への研修													
報告書作成													→

注1) 具体的な実施内容を記入のこと

その他

本事業により構築したウェブサイト又は本事業を掲載したウェブサイト

[1] <http://amami-life.jp> [奄美生活]

平成21年度実施 地域ICT利活用モデル構築事業 システム設計書

実施団体名：鹿児島県奄美市

事業名称：奄美の健康な暮らしに根ざしたビジネスモデル構築事業

1 概要

①トップページリニューアル

- a. サイト訪問の状況や目的別のガイドメニューをページ上部への設置
- b. ページ左側に各コンテンツのメニュー設置
- c. 奄美の集落図を模した「奄美生活初めてガイド」をページ下部に設置
- d. 文字フォントや色使い全般に関して、島らしい暖かみのあるデザインに変更
- e. 携帯サイトへのリンク(QRコード)をページ上部に設置

②しまっちゅ Mosaic カスタマイズ

PDF ファイルのアップロード・表示機能の追加

③健康図書館カスタマイズ

従来のレポート系コンテンツの一元化と、リンク、PDF その他のファイルの登録機能の追加

④あまっちんぐカスタマイズ

テーマ設定とそれに対するアイデア／コメント投稿機能の追加

⑤携帯コンテンツ

- a. 24時間天気メール配信
- b. ロコミ Map、ロココミュニティ、あまみ子育て生活、あまっちんぐ
(PC版をベースにカスタマイズ)

2 運用結果

トップページデザイン変更、システムカスタマイズ(しまっちゅ Mosaic・健康図書館・あまっちんぐ)、携帯版コンテンツ作成(健康天気予報・ロコミ Map・ロココミュニティ・あまみ子育て生活、あまっちんぐ)を行い、平成22年1月にリニューアル公開した。

3 課題・改修の必要性

トップページについて、今後はサイトを頻繁に訪れるユーザへの対応を考慮する必要がある。
天気のメール配信については、今後は会員属性毎の配信内容の切り分けが必要と考える。

4 その他

トップページについては、より視覚的に情報の更新が分かるように改善し、始めて本サイトを訪れた人にも奄美の魅力を知ってもらえるような工夫を加えた。
また携帯サイトの構築により、ユーザの利用の幅が広がったと考えられる。